

第 1177 回放送分『整形外科疾患』4 回目

ゲスト：田邊 史ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは「整形外科疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 田邊 史（たなべ ふみと）ドクターです。

田邊さん、よろしくお願いいたします。

田邊史Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週は、腰部脊柱管狭窄症についてお話しいただきました。

腰部脊柱管狭窄症は 60 代、70 代に多く、

歩くときに痛みやしびれが出るということでした。

座って休憩すればまた歩けるものの、長い距離が歩けなくなるというお話でした。

治療はコルセットや痛み止め、そして日常生活に大きな支障が出る場合は

手術になるということでした。

今日は何についてお話しいただけますか？

田邊史Dr.

今日は骨粗鬆症性椎体圧迫骨折についてお伝えいたします。

二見いすず

骨粗鬆症性椎体圧迫骨折ですね。あまり聞き馴染みのない病名ですが、

骨粗鬆症、圧迫骨折という言葉は多く知られています。

どのような病気なのでしょう？

田邊史Dr.

これは 80 代以上、そして圧倒的に女性が多いのですが、

加齢や閉経によって骨密度が下がり、骨折しやすい状態を骨粗鬆症といいます。

これは多くの方がご存知だと思います。

そしてこの骨粗鬆症が原因で骨折することを骨粗鬆症性椎体圧迫骨折といいます。

二見いすず

80 代以上の高齢の女性に多い骨折ということですが、

転んでしまって骨折することが多いということでしょうか？

田邊史Dr.

転倒による骨折もそうですが、草むしりや重いものを持ったときなど、

特に転倒していないのに

いつのまにか骨折していたというケースもあります。

二見いすず

「いつのまにか骨折」という言葉は時折耳にしますが、まさにそれなんですね。
本人も気づかないということは、あまり痛みを感じないということなののでしょうか？

田邊史Dr.

いつのまにか骨折していた場合は、最初、痛みは軽度ですが
数日から数週経ってから痛みを感じることがあります。
ただし転倒などによる骨折の場合は、直後から痛みを感じることが多いです。

二見いすず

そうなんですね。
ちなみに骨粗鬆症性椎体圧迫骨折の「椎体」というのは、
どのような意味なののでしょうか？

田邊史Dr.

椎体というのは、椎間板と椎間板の間の骨のことです。

二見いすず

治療はどのようなものになりますか？

田邊史Dr.

治療はコルセットや飲み薬ですが、
この病気はそもそもの原因となっている骨粗鬆症の治療が大切です。
骨粗鬆症の検査をし、骨を強くする薬や注射を打ちます。

二見いすず

もしそのような治療をしても良くならない場合は、手術になるのでしょうか？

田邊史Dr.

そうですね。医療用のセメントを入れて、不安定な骨折を安定化する手術を行います。

二見いすず

よく分かりました。
今月は、「整形外科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 田邊 史ドクターでした。
田邊さん、ありがとうございました。

田邊史Dr.

ありがとうございました。